

“朝”から気分を最高にしてくれる CODE 11.59 パイ オーデマ ピゲのある生活

〈Audemars Piguet〉のもうひとつの最高峰、CODE 11.59 パイ オーデマ ピゲ。発売以来大人気の理由は、今までの高級腕時計の概念を超え、日常のあらゆるシーンを豊かにするパワーを秘めているからだ。こんな時計が腕にあれば朝から気分は最高だ！



時計 CODE 11.59 パイ オーデマ ピゲ 467万5,000円 〈Audemars Piguet / オーデマ ピゲ ジャパン〉、ニット 11万6,800円、トップス 6万2,700円、パンツ 7万5,900円、靴 10万2,300円、帽子 2万9,700円、グローブ 2万9,700円 〈すべて MARANT / イザベル マラン 青山店〉

ウォッチ

Nov 13, 2023

早起きして近くの公園まで愛犬とお散歩。こんな毎日のルーティンも、たとえばお気に入りのヴィンテージジーンズを穿いているだけで、ぐっと気分が上がるものだ。もちろん時計だってそうだ。とくに〈Audemars Piguet (オーデマ ピゲ)〉の新定番 CODE 11.59 パイ オーデマ ピゲは、圧倒的なプレシャス感をたたえながら、シーンも装いも選ばない時計。こんな時計を腕に朝の散歩に出かければ、気分もぐっと上向くはずだ。

ちなみにCODEは“Challenge (挑戦) ”、“Own (継承) ”、“Dare (追求心) ”、“Evolve (進化) ”の頭文字、“11.59”は新しい日付に変わる直前を意味する。

〈Audemars Piguet〉のまったく新しい時計を作るという意気込みが伝わるネーミングだ。実際にこの時計は何もかもが既存の概念から逸脱している。一見ドレッシーなラウンドウォッチながら、横から見ると八角形のモデルケースが覗き、シャープな雰囲気をも強めていく。風防もユニークだ。内側をドーム型、外側を縦方向に湾曲させる独特なダブルカーブが与えられ、時計を傾けていくと、高い視認性はそのままに文字盤が多様な表情に変化していく。

なお、搭載するムーブメントはすべてこのコレクションのために自社開発したもので、いずれのモデルもその精緻な動きをシースルーバックから鑑賞できる。メカにこだわる向きにはこども大きな魅力だ。ドレスウォッチともスポーツウォッチとも異なるCODE 11.59 パイ オーデマ ピゲは、ファッションのボーダーレス化が進む今の時代に、もっとも使い勝手のいいラグジュアリーウォッチのスタイルなのかもしれない。実際、2019年の発売以来大人気を博し、今ではあの傑作 ロイヤル オーク (Royal Oak) と並ぶメゾンの二大看板コレクションとなっている。今までゴールドケース、もしくはそのモデルケースをブラックセラミックとしたモデルのみの展開だったが、今年は待望のステンレススチールバージョンが登場。より日常で気軽に着用できるラグジュアリーウォッチが欲しい人には、まさに絶好の新作と言えるだろう。

毎日、最高の気分でスタートを切りたかったら、ぜひ狙ってみて欲しい。



CODE 11.59 パイ オーデマ ピゲ クロノグラフ

ステンレススチールバージョンのCODE 11.59 パイ オーデマ ピゲは、文字盤が一新されたほか、ベゼルをより薄く仕上げるなどディテール面も細やかにアレンジ。ぐっと若々しくモダンな印象を獲得している。こちらはそのうちの「ナイトブルー、クラウド50」文字盤のクロノグラフ。スポーティさとシックさを兼備した絶妙な色味も魅力だ。3気圧防水。約70時間パワーリザーブの自社製自動巻きムーブメント (Cal.4401) 搭載。径41mm。SSケース。テキスタイル調ラバー加工レザーストラップ。467万5,000円 (税込)。





フォトグラファー Eric Micotto スタイリスト Noriaki Moriguchi / Hypebeast ヘアメイク Tomo (artifata) ライター Iwao Yoshida
プロジェクトマネージャー Mayumi Ishida / Hypebeast クリエイティブディレクター Noriaki Moriguchi / Hypebeast
スタイルアシスタント Atsushi Tanabe, Kawachimaru モデル Go, Julien (セントバーナード) エディターアシスタント Takeshi Kikuchi